

専門職倫理の確立に 向け、倫理綱領を採択

全国福祉用具専門相談員協会

全国福祉用具専門相談員協会（山下平会長、ヤマシタコーポレーション社長）は6月25日、東京都千代田区・弘済会館で定期総会を開催し、研修会の開催や福祉用具専門相談員のキャリア情報公開システムの構築など、今年度の事業計画を決定した。あわせて福祉用

具専門相談員が遵守すべき倫理綱領の採択も行った。

今年度は、事例検討方式の研修会の開催のほか、国際医療福祉大学と連携し、福祉用具専門相談員を主な対象とした共同講座を10月



から開催する。

同時に利用者やケアマネが福祉用具専門相談員を選

「民間事業者だからこそ倫理綱領が必要」と説明する山下会長

ルを評価した情報を提供するシステムの構築にも着手する。資格や参加した研修をポイント化し、福祉用具専門相談員のキャリアを数値化することも、どんな研修を積んできたのかまで分かる情報を協会のホームページなどで公開する考えだ。

また、専門職倫理の確立に向け、法令遵守や守秘義務、専門性の向上など10項目に及ぶ倫理綱領の採択もおこなった。会員の席で山下会長は「知識や技能は時間の経過とともに備わってくるが、倫理は違う。理事の中から果たしてそこまで必要なかという意見もあったが、われわれは民間事業者だからこそ、こうした倫理綱領が必要だと考え、策定した」と説明した。